

ご挨拶

筋の通らないところに結果は出ず、取り組むからには結果を出さねば意味が無い。結果を出すべく責任を持って取り組む姿勢を忘れず、結果が出なければ、原因分析し、改善策を考える。この基本を徹底し、日々勉強を怠らず、経験を糧とし、学んだことを活かし、これら積み重ねが力となって、ようやく国家・国民に貢献できるようになると考え、地道に歩んでまいりました。

私は、国政課題と向き合う時、当たり前ですが、常に「公＝国家」を意識しています。昨今、残念なことに、様々な課題に対し、目先優先の個別最適解を求める暫定的な対応が散見され、暫定的な対応の結果、更に別の課題が発生する等、悪循環に陥りかけていると感じています。国の対応力は無限では無いことから、状況や問題点を精査・分析し、根本的な所からの見直し・建て直しを図り、中・長期的視点で包括的かつ少しでも恒久的に近い解決策も合わせて模索していかないと、いずれ国家が機能不全になり、いよいよ暫定対応すらできなくなるのではという危機感すら持っています。まして、大変厳しい安全保障環境に加え、今後到来する少子高齢化・人口減少社会は、未だかつて、私たちが経験したことの無い社会であり、今まで通りの対応で乗り切ることが難しいと言わざるをえません。

それゆえ、私は、従来の枠組み通りに解決策を考えるだけではなく、私たち日本人が育ててきた知恵を最大限発揮し、切り口を変えたり、バラバラに機能しているものを繋げたり組み替えたり、重複しているものをまとめる等、課題解決の軸を明確にして再構築することで、今のうちに国力の強化を図り、迫り来る厳しい将来に少しでも備えたいと考えています。

AIなど便利なツールも多数出てきましたが、どう使いこなすかは人次第であって、やはり最後は人なのだと思います。私は、一貫して「国づくり、地域づくりは、人づくりから」を信条に、どの国政課題と向き合う時も、人づくりは必ずセットで取り組んできました。

まだまだ課題は山積みです。中途半端な取り組みで終わるわけにはいかない、強くそう思って活動しております。どうか皆様のご指導を賜りますことを切にお願い申し上げます。

参議院議員 **赤池誠章**

赤池まさあきプロフィール

昭和36年山梨県生まれ。明治大学政治学科卒業。松下政経塾で松下幸之助氏に「人づくり」の重要性を学ぶ。専門学校長を経て、平成17年衆議院議員に初当選。平成25年参議院議員通常選挙比例代表(全国区)で国政復帰。国土交通委員会理事、文部科学大臣政務官、文教科学委員長、自民党文部科学部会長(三期)、内閣府副大臣等を務め、現在、党政務調査会副会長三期目(文部科学・法務担当)、党ゴルフ振興議員連盟事務局長等。参議院議員二期目。

<https://www.akaike.com>

【日本ゴルフサミット会議関係者による
赤池まさあき後援会 事務局】
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-24-2-4F
日本ゴルフサミット会議 事務局 (日本ゴルフ協会内)
Mail: info@jga.or.jp FAX 03-6275-2642

【赤池まさあき 国会事務所】
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館524号室
TEL 03-6550-0524 FAX 03-6551-0524

日々勉強、
結果に責任！



活動報告は
こちらから

参議院議員 比例代表 (全国区)

赤池 まさあき

国づくり、地域づくりは、人づくりから

参議院選挙の投票方法

① 都道府県選挙区

「2回」投票します
① 都道府県選挙
② 比例代表選挙

都道府県選挙区 ← 1枚目
各都道府県の候補者名を書いて投票します。

② 比例代表 (全国区) 選挙

比例代表 (全国区) ← 2枚目
全国どこからでも、比例区の候補者名を書いて投票できます。
(政党名でも可)

比例代表選挙は、政党名およびその政党に属する候補者個人への投票数の合計に応じた各政党への議席配分から、候補者名での投票数の多い順に当選者が決まる非拘束名簿式です。

赤池まさあきの取り組み

▶ゴルフ振興をはじめ、健康増進・健康寿命延伸を目指した取り組みに注力！

今後到来する超高齢社会に向け、健康増進・健康寿命延伸が我が国にとって重要な課題となっており、国は「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、良い睡眠」という標語を掲げ、各種施策を展開しています。私も「早寝早起き朝ごはん運動」の推進、スクリーンタイムの増加からくる体力低下への歯止め策の提案、情報端末を活用した栄養教諭による食育指導の支援、睡眠学会等の知見を活用した睡眠教育の促進、日常生活の中での「歩く・走る」の習慣化普及、そして、ゴルフに代表される生涯に渡って競技できるスポーツの振興等、国民の健康増進・健康寿命延伸を目指して取り組み続けています。

▶スポーツ庁長官杯ゴルフフェスタ全国大会を提案し実現！

自民党文部科学部会長時代、ゴルフ場利用税廃止を目指し、党税制調査会での議論の先頭に立って取り組みました。結果、オリンピック等の国際大会での非課税措置は勝ち取りましたが、残念ながら、見直し・廃止への壁は高く、課題解消には至っておらず、地方自治体との共存共栄等、別角度からの解決策を考え続けています。一方、スポーツ庁発足を契機に、振興策として私が提案したスポーツ庁長官杯は、全国の約1500のゴルフ場が対象となるハンディキャップ・インデックスを活用した国内最大のゴルフフェスタ全国大会として実現し、現在、9年目を迎えています。80歳を超えた競技者が優勝する等、生涯スポーツの推進に繋がっています。

▶自民党ゴルフ振興議員連盟の事務局長となり、活動を牽引！



自民党ゴルフ議連は、ゴルフ場利用税廃止や公務員倫理規程のゴルフ禁止規程削除、そして、ゴルフ振興策について各種活動を展開してきました。ゴルフ場利用税廃止に向けて論陣を張り、公務員倫理規程問題については、削除を求めて官房長官や国家公務員倫理委員会に何度も申し入れを行ってきました。ゴルフ振興策としては、ゴルフ場利用税の一部を地元ゴルフ協会へ還元する兵庫県三木市の取り組みや、宮崎県等のアジアゴルフツーリズム商談会の開催実績等を聞き取り、好事例の全国展開を目指して、ゴルフ場立地地方自治体代表者との連携を推進中です。引き続き、議員連盟事務局長として各種活動を牽引してまいります。

後援会入会のお願い

ゴルフ振興に取り組む赤池まさあき議員の活動を応援するために、後援会へのご入会を賜りますようお願い申し上げます。

私たちも応援しています！

日本ゴルフサミット会議 議長 池谷 正成



日本の活力復活は、 ゴルフ振興とともに!!

活性化を目指し、 ゴルフ振興に力を尽くします。

ゴルフは、老若男女を問わず生涯にわたって競技できるスポーツです。心身の健康維持・増進効果が高く、認知症予防にも役立つと言われ、今後到来する少子高齢化・人口減少社会において、ゴルフの果たす役割は大きいと考えています。ゴルフ人口を増やすためにも、これらの効果に加え、「紳士のスポーツ」とされる教育的側面を踏まえた普及活動や、プロも含めた競技の応援など、活性化を目指し、ゴルフ振興に力を尽くします。

共存共栄を図り、 地方創生に繋げるべく、 地方自治体との協議の場をつくります。

我が国は、米国に次いで世界第2位のゴルフ場大国であり、地域にとっては貴重な地場産業でもあります。ゴルフ場が立地する地方自治体とゴルフ団体との協議の場を各地につくり、住民交流、健康維持・増進、マナー教育普及、観光、防災対策等を促進することで、共存共栄を図り、地方創生に繋がります。

公務員倫理規程から ゴルフ禁止規程を削除します。

ゴルフは、オリンピックをはじめ、2025年東京開催のデフリンピック(聴覚障害者競技大会)、2027年関西開催のワールドマスターズゲームズ等においても正式種目です。しかしながら、公務員倫理規程ではゴルフが一律禁止されています。ゴルフだけが不正の温床であるかのような誤った印象を与えかねず、公務員倫理規程からゴルフ禁止規定を削除します。